

社会福祉法人年輪 令和 7 年度 事業報告書

1. 法人

(1) 概略

法人名 社会福祉法人年輪（ねんりん）

所在地 東京都青梅市成木三丁目 315 番地の 7

理事長 西河 洋一

設立認可年月日 平成 29 年 1 月 31 日

法人登記年月日 平成 29 年 2 月 2 日

(2) 社会福祉事業-拠点区分-サービス区分

いいあさ拠点

- ・法人本部
- ・いいあさファーム（就労継続 B 型）
- ・いいあさファーム（生活介護）
- ・いいあさシード開設準備室

めいきょう拠点

- ・特定相談支援
- ・障害児相談支援

2. 法人事業計画重要項目進捗結果

(1) 相談支援事業所開設

相談支援事業所に関しては開設を完了し、新規利用者 5 名の獲得が決まった。

今後、関係機関との連携強化および営業活動の推進により事業計画に基づいた利用者の確保を図る。

(2) 隣地の新施設開設準備

新規施設開設に係る準備として、設計業務の完了および補助金の内々定の取得に至った。

(3) 利用者支援

令和 7 年度は利用者の日々のプログラム自体を見直し、利用者支援中心の体制を再構築する事が出来た。

(3) 人材育成

利用者の個別の障害特性や高いニーズに対応できるよう、個別の支援計画書、進捗管理表の作成、指導を行ったが、実施する職員の育成が不十分で計画通りの達成が出来なかった。

(4) 共生社会をめざして

地域の方々と共に発展していく年輪を目指すために、いいあさファームの職員と聞き取りをおこなった上で、新たな未来構想の計画書を作成した。

3. 本部事業報告

(1) 評議員会

6月24日	第1号議案	「令和6年度事業報告書の承認の件」
	第2号議案	「令和6年度計算書類及び財産目録の承認の件」
	第3号議案	「理事の選任（改選）」
	第4号議案	「監事の選任（改選）」
	第5号議案	「非常勤役員等報酬規程改定の件」
9月17日	第1号議案	「定款変更承認の件」
	第2号議案	「令和7年度第一次補正予算案の承認」
3月16日	第1号議案	「令和7年度最終補正予算案承認の件」
	第2号議案	「令和8年度事業計画及び収支予算案承認の件」

(2) 理事会

6月9日	第1号議案	「令和6年度事業報告書の承認の件」
	第2号議案	「令和6年度計算書類及び財産目録の承認の件」
	第3号議案	「定時評議員会招集決議の件」
	第4号議案	「改選役員候補者名簿の承認の件」
	第5号議案	「改選評議員候補者名簿の承認の件」
	第6号議案	「評議員選任解任委員の選任の件」
	第7号議案	「役員等賠償保険加入の件」
	第8号議案	「経理規程（案分率変更）改定の件」
	第9号議案	「非常勤役員等報酬規程改定の件」
6月26日	第1号議案	「代表理事選定の件」
	第2号議案	「業務執行理事選定の件」
9月8日	第1号議案	「相談支援事業事業の開始決議」
	第2号議案	「収益事業の廃止決議」
	第3号議案	「定款変更承認の件」

	第 4 号議案 「令和 7 年度第一次補正予算案の承認」 第 5 号議案 「評議員会招集決議」 第 6 号議案 「経理規程改定の件」 第 7 号議案 「業務執行報告」
3 月 6 日	第 1 号議案 「令和 7 年度最終補正予算案承認の件」 第 2 号議案 「令和 8 年度事業計画及び収支予算案承認の件」 第 3 号議案 「評議員会招集の件」 第 4 号議案 「経理規程改定の件」
3 月 16 日	第 1 号議案 「業務執行報告」

(3) 評議員選任・解任委員会

6 月 13 日	第 1 号議案 「評議員選任の件」
----------	-------------------

(4) 助成金・補助金等

① 補助金事業収入（公費）

- ・青梅市日中活動系サービス推進事業補助金
- ・令和 7 年度東京都障害福祉サービス等職員居住支援特別手当事業補助金
- ・令和 6 年度障害者施設等物価高騰対策支援金
- ・令和 7 障害者支援施設等におけるデジタル技術等活用支援事業補助金

② 補助金事業収入（一般）

- ・公益信託障害者愛の福祉基金(三井住友信託銀行)/2025 年障害者愛の福祉基金助成金（耕運機の購入）
- ・公益財団法人みずほ福祉助成財団/2025 年度社会福祉助成金(AED・担架の購入)

③ 国庫補助金収入

該当なし	
------	--

④ 寄附金収入

- ・現金による寄附 該当なし
- ・物品による寄附 該当なし

令和7年度 事業所報告

1. いいあさファーム（施設全体）

令和7年度は、「活動の幅を広げる」「土曜日活動の充実化」を掲げ、ご利用者が地域社会で役割を持ち、自立に向けた力を養えるよう支援体制の強化を図りました。

（1）重点目標

計画	実施	効果
①活動の幅を広げ、地域社会での役割を構築する。	地域での農福連携を推進し、近隣農家のお手伝いや成木地区の行事へ積極的に参加した。	地域住民との関わりが増え、障害への理解促進とご利用者の社会参加意欲の向上に繋がった。
②土曜日活動の充実化による日中活動の取り組み。	土曜日の開所日を定期的に設け、余暇活動や創作活動の時間を確保した。	ご利用者の生活リズムが安定し、休日を充実させることで平日の活動への活力となった。
③職員の専門性向上と支援技術の強化。	虐待防止研修や強度行動障害研修などの外部研修に加え、月1回の内部研修を実施した。	ご利用者の高齢化・重度化に対し、統一された視点での適切な支援が展開できるようになった。

2. 就労継続支援B型事業所

（1）重点項目における取り組み

計画	実施	効果
①生産物の納品・販売に携わる機会の創出。	収穫した野菜の納品や、喫茶だんだん（市役所）での給仕作業を継続した。	ご利用者が直接社会と繋がることで、作業へのモチベーション向上と自信に繋がった。
②乾燥野菜の作業グループ構築と製品化。	就労B型内に乾燥野菜の専用グループを編成し、生産から販売までの体制を整えた。	作業売上が年間 2,235,832 円となり、工賃の安定的な支払いに寄与した。 乾燥野菜は試作の取り組みを行った。
③事業所運営の安定化と稼働率向上。	新規ご利用者の獲得と、欠席者へのフォローアップを行い、出席率の向上を図った。	・述べ利用者数 1,759 人 ・月平均工賃 10,161 円を達成した。

3. 生活介護事業

(1) 重点項目における取り組み

計画	実施	効果
① 個々の特性に合わせたコミュニケーション支援。	個別アセスメントに基づき、視覚支援や代替手段を用いた意思確認を徹底した。	ご利用者の意思が尊重され、本人が主体的に活動を選択できる場面が増えた。
② 「はたらく」を実感できる活動の提供。	畑作業の細分化、堆肥作り、ウッドチップ作りなど、身体を動かす活動を充実させた。	生活介護の出勤率は 95.0%と極めて高く、ご利用者の居場所として定着した。
③ 社会性の構築とステップアップ支援。	SST（社会生活技能訓練）を取り入れ、集団生活のルールやマナーの習得を支援した。	ご利用者同士のトラブルが減少し、他者への配慮や協力して作業に取り組む姿が見られた。